

第7回全国高等学校小規模校サミット

少規模校は最先端



各校の代表が前に立ち開会宣言



3年生の石田恵慧さん大竹流音さんが那須高校 PR



那須高校タイム

7月25日、山形県小国高校が主催で開催された全国高等学校小規模校サミットに那須高校も参加しました。今回で7回目となる小規模校サミット、全国8県13校113名の高校生が山形県小国高校に集まりました。

この小規模校サミットの趣旨は、全国の小規模高校の生徒が交流し親睦を深めると共に、各校・地域が抱える課題について意見交換し、将来それぞれの地域で活躍する資質や能力、協働意識を育成することです。主催である小国高校は全校生徒74人。その生徒たちが実行委員会を作り、司会進行、ファシリテーション、記録係や他校との連絡調整などさまざまな役割を生徒たちが担ってサミットは運営されています。

カッション、プレゼン形式での参加校の取り組み発表、交流ワークショップなどがあり、関東圏から初参加となった那須高校は2名の生徒が参加しました。

パネルディスカッションでは、那須高校の生徒もパネラーとして登壇し、(一財)地域・教育魅力化プラットフォームの岩本悠氏の進行のもと「少規模校は最先端」をテーマに、少規模校の悩みや良さなど各生徒の率直な意見を語らい、参加生徒全員で共感しました。

参加校の取り組み発表では、那須高校の特色でもあるリゾート観光科の紹介や、地域連携ボランティア活動、総合的な探究の時間での「那須まち人物図鑑」の制作などについて、寸劇を交えながらプレゼンを行い、大いに場を盛り上げました。他校の教員からも「うちでも人物図鑑をやってみよう」といった声も多くいただき、大好評でした。

今回参加した生徒たちも、はじめは緊張していましたが、プログラムが進むにつれてグループ内で他校の生徒たちとも打ち解け、連絡先を交換する様子もみられ、「すごく楽しかった」「本校のアピールができて参加して良かった」との感想を述べていました。

今回、初参加となった那須高校は、参加校の中では一番生徒数が多い高校でした。全国にはさらに少人数の高校がたくさんあり、そこに通う生徒たち自身は少規模校であることを強みとして意識していることが、非常に印象的でした。

少子化だから統廃合すれば良いという発想ではなく、少規模だからこそ生徒たちがチャレンジできる環境が作れる高校は、生徒たちからは魅力的なんだと感じました。

今回、保護者の方々には多大なご協力をいただきましたこと、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。

(コーディネーター 佐藤達夫)



石田さんがパネリストで登壇



グループワークで交流



最後は全員で記念写真

第7回全国高等学校小規模校サミット

第7回参加校 一覧

宮城県岩ヶ崎高等学校／山形県立左沢高等学校／山形県立荒砥高等学校／山形県立遊佐高等学校／山形県立新庄南高等学校金山校／福島県立石川高等学校／福島県立西会津高等学校／栃木県立那須高等学校／長野県白馬高等学校／広島県立油木高等学校／高知県立大方高等学校／山口県立防府高等学校佐波分校／山形県立小国高等学校

栃木県立那須高等学校

那須町大字寺子乙3932-48 TEL/0287(72)0075

tochigi-edu.ed.jp/nasu

「那須高校タイム」は生徒会の生徒と高校魅力化コーディネーターが共に作るページです

タウントップニュース

子育て・ほげんだより

生涯学習だより

図書館だより

Town information

カメラスケッチ

那須高校タイム

みんなの広場

無料相談会・消費の豆知識

カレンダー